

学校と地域との橋渡し役となる PTA 活動

～子どもが安全に過ごせる岐山地区をめざして～

岐山小育友会



PTA名称	周南市立岐山小学校 育友会	
所在地	周南市大字徳山5673番地	
学校地域の 概要・組織	<p>昭和33年に開校し、現在62年目。校区は周南市中央部の市街地北側に位置し、東西に走る国道2号線北側の県道315号線の東西両側が主たる校区となっている。校区内には周南警察署、桜ヶ丘高等学校、市文化会館、美術博物館、徳山動物園等の公共文化施設があるとともに、昔からの史跡も多く点在している。一定の地域内に住宅地が集中しており、地域の人口密度は高い。</p> <p>また、本年度は「いっしょうけんめいがんばるきさん子」を教育目標にし、福井雅子校長をはじめ教職員27名が児童を熱心に指導支援している。育友会が学校を全面的にサポートし、家庭・地域・学校のバランスがとれている学校である。</p>	
研究テーマ	<p>学校と地域との橋渡し役となる PTA 活動</p> <p>～子どもが安全に過ごせる岐山地区をめざして～</p>	
成果と課題	<p>成果として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域との連携がより深まり、地域の方々が学校に積極的に関わっていただけるようになった。 ○ 防災意識の高まりを感じる。児童だけでなく、保護者にも指導支援に加わっていただき、意識の高まりを感じた。 <p>課題として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域防災を学校主導から地域主導へつなげていくことが大切と感じた。その手段や方法を学んでいきたい。 ○ 児童や保護者がさらに主体的に取り組めるようにしたい。 ○ 防災に取り組むための資金繰りなどが挙げられた。 	

<p>活動内容</p>	<p>本年度は特に「地域防災（地域との連携）」を視野に入れた取組ができないかと考え、以下2つのねらいをもって年間実践した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「地域と考える防災ふれあい学習」－地域、学校運営協議会や父親の会等とともに地域防災に自助の精神を育めないか提案していこう ○ 地域防災のために、子どもたちがどんな取組ができるか、考える場づくりをしていこう <p>6月22日（土）、「地域防災ふれあい学習会」（学校主催）がメインの活動であった。この会は、岐山地区が防災意識の高い地域にという願いのもと、防災士等の指導を受け、11のブースを1～4年生は保護者と回り、5・6年生は、「地域の安全のために今自分たちができること」を児童・保護者・地域の方々に防災士の講演を聞いて熟議を行うという内容のものだった。下学年の11のブースには、「消火訓練」「スモークテント」「給水」「土嚢づくり」「防災防犯」「非常食体験」「防災クイズ」「段ボールベッド」「防災グッズ作り」「ビデオ」「展示」を企画した。その中の「段ボールベッド」「防災グッズ作り」は、育友会役員が防災士よりレクチャーを受け、児童や保護者に教えるというブースになった。延べ700人以上の参加者があったこと、消防・警察・行政もブースを担当したことなど、地域全体に意識を高められる企画だった。「非常食体験」ブースの試食品を今回の助成金で充たさせていただいた。</p> <p>その後、防災意識の高まりがあり、避難所である岐山小学校体育館の備蓄に力を入れようという運びになった。今までも避難所になっていたが、備蓄品が全くなく、いざという時に何もできないのではないかという地域・保護者の声から、体育館のステージ裾を整理し、そこに備蓄庫を備えることにした。地域防災の方より、備蓄庫の戸棚を整備していただき、その中に備蓄品を徐々に揃えていくことにした。</p>
-------------	---

<写真・資料>



6月22日(土)に、「地域防災ふれあい学習会」を開催した。地域と学校との共催による学習会で、「防災意識の高い岐山地区」を合い言葉に、11ブースを用意し、そのブースを児童、保護者、地域の方々が回るようにした。

その中で、本助成金を利用し、保存食試食会を催した。災害時に食する保存食を3種類用意し、人気のある1種類を避難所(岐山小学校体育館)に保存食として置いておくというねらいで行った。

チキンカレーが人気で、常備することになった。

防災ふれあい学習会では、保護者(育友会副会長他2名)が段ボールベッド体験ブースの担当として、活躍した。児童や保護者、地域の方々が段ボールベッド数種類を組み立てたり、寝そべったりした。今後、岐山小学校が避難所になった時に、どんな段ボールベッドがよいかなど、意見を出した。

防災ふれあい学習会で、保護者(育友会副会長他1名)が指導者になって、防災時のスリッパ作りを体験した。ガラスの破片等で足を切らないよう、新聞紙でスリッパを作ることを教示し、児童や保護者、地域の方々の防災意識を高めるような取組をした。